



2024年

1月

中国四国農政局
徳島県拠点

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定証を授与

中国四国農政局では、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第10回選定）として優良な取組事例を選定し、管内の農山漁村の活性化に資することを目的に、これらの事例を広く発信しています。この度、徳島県からは26件の応募があり、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に2団体及び1個人、同奨励賞に1団体を選定しました。中国四国農政局徳島県拠点が選定証授与式を各地で開催し、清水地方参事官から選定証の授与を行いました。

選定地区の概要については、こちらを御覧ください。↓（中国四国農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html#tyuushisentei>

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区（者）及び奨励賞選定地区		
市町村	地区名／氏名	受賞部門
美馬市 三好市 美馬郡つるぎ町 三好郡東みよし町	一般社団法人 ^{さと} そらの郷	団体 (コミュニティ・地産地消)
鳴門市	株式会社本家松浦酒造場	団体 (ビジネス・イノベーション)
阿波市	寺井 稔	個人
美波町	^{あかまつえんか} 特定非営利活動法人赤松煙火保存会	奨励賞

一般社団法人そらの郷



そらの郷は、世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」を体験できるように体験型教育旅行やインバウンドツアーを企画し、交流人口を増やして地域の活性化に貢献していることが評価されました。

授与を受け、そらの郷理事長の松浦敬治様（東みよし町長）からは、「今後も更なるツアー内容の開発や関係者との連携強化を図り、住んでよし、訪れてよし、の観光地域づくりを推進し、世界に通ずる競争力の高い観光地を目指していきたい。」と抱負を語られました。



【令和5年12月19日東みよし町役場にて】

株式会社本家松浦酒造場



本家松浦酒造場は、徳島県産のすだちを使用したリキュールや鳴門市内のコウノトリの餌場の田んぼで採れた酒米を使用した日本酒の製造・販売、更に歴史ある酒蔵を情報発信拠点としてのイベント開催などを通じて、地域の活性化に貢献していることが評価されました。



授与を受け、本家松浦酒造場十代目蔵元の松浦素子様からは、「製造に使用している徳島の農産品はとても素晴らしいものなので、持続的に活用できるように世界へ向けてPRしていく思いで今後も取組を継続していきたい。」と抱負を語られました。



【令和5年12月25日松浦酒造場にて】

寺井 稔

寺井稔様は、阿波市特産認定品の翡翠ナス「GOTTSO美〜®ナス」を生産している農業後継者グループ「GOTTSO阿波」の3代目会長として、グループのメンバーを率いて阿波市の農業振興



【令和5年12月14日阿波市役所にて】

に向けて精力的に活動を行っていること、更に食育活動にも力を入れており、農業を次世代へつなぐ活動を行っていることが評価されました。

授与を受け、寺井稔様からは、「今までの会長が結成当時から熱心に取り組んでくれていたおかげで今のGOTTSO阿波がある。今後も意欲的に活動を続け阿波市のみならず、徳島県全体を盛り上げていきたい。」と抱負を語られました。



特定非営利活動法人赤松煙火保存会



赤松煙火保存会は、約200年続く赤松神社での伝統吹筒花火の奉納を行うことにより、地域コミュニティの維持・強化や交流人口の増加、更には伝統文化を継承し関係する人々の連係と結束力の強化をもたらし、地域の活性化に貢献していることが評価されました。

授与を受け、赤松煙火保存会理事長の岡本裕二様からは、「伝統文化を後世に残さなければとの思いで何も分らず手探り状態で始めたが、試行錯誤を続けていく中でこのような奨励賞をいただき大変光栄であり、今までの苦労が報われた。今後も継続していきたい。」と抱負を語られました。



【令和5年12月12日美波町役場にて】

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町2丁目32番地

TEL (088)622-6133(内線403) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>